

会報

遠藤章博士顕彰会

発行責任者
遠藤章博士顕彰会
会長 佐々田亨三
☎0184-72-2045

遠藤章博士のご冥福をお祈りして

遠藤章博士顕彰会会長 佐々田亨三

史上最大の新薬と称される「スタチン」を発見・開発された世界的研究者、遠藤章博士は令和6年6月5日、90歳で逝去されました。私も遠藤章博士顕彰会にとりまして、博士をお見送りしてから1年5か月を迎える今日、思いは薄れることなく、在りし日の温かな笑顔と創業への尽きぬ情熱、郷里への深い愛情が日々胸に蘇ります。ここに改めて、博士のご逝去から一周忌法要までの経緯を会員の皆様に謹んでご報告申し上げ、博士のご冥福を心よりお祈りいたします。

は「盛励院釋章薬居士」であります。弔辞は児玉龍彦医学博士（東京大学先端研）が読み上げ、博士の世界的功績と温かな人柄が偲ばれました。訃報は11日、名誉教授・特別荣誉教授を務めた東京農工大学より公表され、直後から主要メディアが大きく報道。秋田魁新報社は号外や特集報道を行い、児玉博士による追悼記事も掲載されました。国外でもニューヨーク・タイムズ、英国のザ・タイムズなどが報じ、その計報は世界へ広がりました。

お便りを頂戴し、博士の優しさと志が受け継がれていることに深く胸を打たれました。

■「遠藤章博士を偲ぶ会」
9月1日、顕彰会主催により「遠藤章博士を偲ぶ会」を開催。博士の長男・遠藤理様、秋田県教育長・安田浩幸様、由利本荘市長、市議会議長、一交会会長、中高生代表など多くの関係者が参列し、博士の偉業と人となりを温かく偲びました。この会を含む「遠藤章博士追悼集」は同年12月に発行いたしました。

■「遠藤章博士を偲ぶ会」
令和7年5月17日、東京多磨霊園にて墓碑の建碑式が行われました。墓地は21区にあり、墓石はインド産石材が使用されています。ご住職様は、博士自筆の「夢」の文字に触れ、「大いなる夢を追い続けた博士の姿は、悟りを求める者の姿と重なります」と述べられ、会場は深い敬意に満たされました。引き続き一周忌法要・御斎が営まれ、児玉龍彦医学博士、蓮見恵司農学博士をはじめ多くの皆様が博士の人柄を語られました。私からは、博士が地下鉄車内で見かけた（学力日本一の）「秋田に学べ」の写真を嬉しそうに送ってくださったことや、小松順之助先生との「ガニ味噌」の逸話を紹介し、博士の温かいユーモアを偲びました。奥様より博士の形見としてネクタイを頂戴し、深い感慨に包まれました。博士の遺された功績は今なお世界の医療を支え、その真摯な生き方と郷里を愛する心は私たちに語りかけ続けています。



東京多磨霊園に建てられた墓碑

■逝去から葬儀までの経緯
博士は6月5日に逝去され、喪主は令夫人で言語学者・元文教大学教授の遠藤織枝様が務められました。通夜は6月9日、告別式は10日に執り行われ、多くの関係者が参列。宗派は浄土真宗（大谷派）で、法名

顕彰会の活動紹介と、スタチン第一号の化学式を刻んだ「世界に冠たる顕彰碑」を紹介し、博士のご冥福を祈念いたしました。

■一周忌法要および建碑式
令和7年5月17日、東京多磨霊園にて墓碑の建碑式が行われました。墓地は21区にあり、墓石はインド産石材が使用されています。ご住職様は、博士自筆の「夢」の文字に触れ、「大いなる夢を追い続けた博士の姿は、悟りを求める者の姿と重なります」と述べられ、会場は深い敬意に満たされました。引き続き一周忌法要・御斎が営まれ、児玉龍彦医学博士、蓮見恵司農学博士をはじめ多くの皆様が博士の人柄を語られました。私からは、博士が地下鉄車内で見かけた（学力日本一の）「秋田に学べ」の写真を嬉しそうに送ってくださったことや、小松順之助先生との「ガニ味噌」の逸話を紹介し、博士の温かいユーモアを偲びました。奥様より博士の形見としてネクタイを頂戴し、深い感慨に包まれました。博士の遺された功績は今なお世界の医療を支え、その真摯な生き方と郷里を愛する心は私たちに語りかけ続けています。

顕彰会会務報告

(令和7年1月～12月)

3月6日

地域貢献事業（東由利中学校卒業生に記念品贈呈）

3月28日

顕彰碑冬囲い撤去作業

4月12日

会計監査

4月22日

第1回事務局拡大会議

6月16日

顕彰碑の敷地にベンチを設置

6月21日

理事会

6月21日

総会

9月9日

第2回事務局拡大会議

10月9日

東由利公民館に遠藤章博士顕彰コーナーを開設

10月21日

第3回事務局拡大会議

11月8日

講演会（由利本荘市鶴舞会館・小泉幸央農学博士）

11月7日

顕彰碑の冬囲い作業

12月13日

第4回事務局拡大会議

12月15日

会報第6号発行

会費・協力金・寄付金等

(令和7年11月末日現在)

・会費

279,000円

・寄付金

40,000円

今年度会費をお忘れの方は、令和8年1月31日までに
お納め下さるようお願いいたします。

新会員も募集しております。お近くで顕彰会活動に賛同していただける方がいらっしゃいましたら、お誘い下さい。

会費は年額、一般会員1口2千円（2口以上可能）・賛助会員（法人・団体等）1口5千円（2口以上可能）です。

よろしくお願いいたします。



11月8日鶴舞会館で開催した遠藤章博士顕彰会講演会

講演会

秋田県名誉県民・由利本荘市名誉市民・遠藤章博士没後1周年記念の「遠藤章博士顕彰会講演会」を11月8日本荘地域の鶴舞会館で開催しました。

講師は秋田大学院医学系研究科医学専攻分子機能学・代謝機能学講座助教の小泉幸央博士（昭和48年生まれ・神奈川県鎌倉市出身・農学博士）で、日本大学、東京農工大学

大学院などを経て、秋田大学医学部、日本赤十字秋田看護大学非常勤講師などを歴任され今日に至っています。

小泉博士は、講演に先立ち、私は学生時代に遠藤章先生と出会い、微生物が持つ有用な力に強く興味を抱きました。以来「微生物創薬」を目指して研究を続けております。現在は、既存の血栓溶解活性とは異なる新しいメ

遠藤博士の教え子が講師

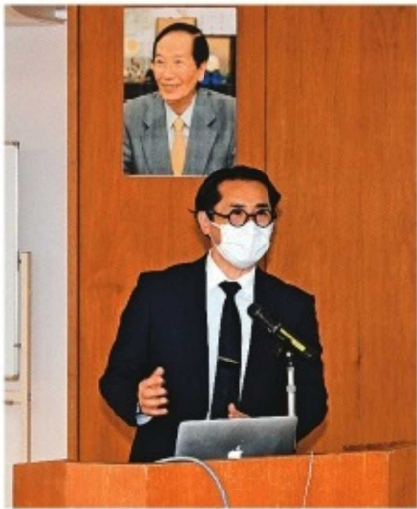
カニズムをもつ血栓溶解剤の候補化合物を探索し、血栓性疾患の新しい治療薬の開発に貢献したいと考えています。本日の講演では、私と遠藤先生と

の出会い、遠藤先生の功績、私自身の研究の出发点と現在の研究、そして微生物創薬の可能性についてお話ししたいと思ひますと述べられてから講

演に入られました。11月11日に秋田さきがけ新聞に掲載されましたので、秋田魁新報社から了解をいただき転載させていただきます。

遠藤さん 研究の志高く

没後1年、教え子語る
講演会



講演で遠藤さんとの思い出などを語る小泉さん

昨年6月に亡くなった応用微生物学者の遠藤章さん（由利本荘市東由利出身、東京農工大特別荣誉教授）の没後1年を記念した講演会が8日、由利本荘市の鶴舞会館で開かれた。遠藤さんの教え子で秋田大学院医学系研究科分子機能学・代謝機能学講座助教の小泉幸央さん（微生物創薬）が登壇。遠藤さんの功績や思い出、自身の研究内容を紹介した。

小泉さんは、東京農工大大学院で発酵学を学んでいた際に遠藤さんの指導を受けた。当時の研究室の雰囲気については「遠藤先生に憧れ、微生物から新たな薬を作りたいという志の仲間が多かった」と振り返った。

遠藤さんは1973年夏に青カビから血中コレステロール値を下げる物質を発見。この物質を基に開発された薬は、コレステロール低下剤「ス

タチン」の第1号となった。小泉さんはスタチンについて「2005年当時の売り上げは3兆円であり、世界中で使われていた」と話した。

小泉さんは現在も秋田大学院で微生物が持つ有用な力を生かした創薬の研究に取り組んでいると説明。これまでの研究の中で県内の土壌から分離した微生物由来の抗菌物質を見つけたと紹介し「遠藤先生との出会いがなければ今の自分はない。遠藤先生の教えは、好奇心を持つことや諦めない姿勢を大切にすることだ。秋田から第2のスタチンを見つけていけるように頑張っていきたい」と意気込みを語った。

講演会は遠藤章博士顕彰会（佐々田亨三会長）の主催。市民ら約40人が聴講した。（相沢一造）

話題

金子拓雄さんが「紫白綬有功章」授章

公益社団法人大日本農会が主催する「令和7年度農事功績者表彰式」で、本会理事の金子拓雄さんが全国でただ一人、「紫白綬有功章」（しはくじゅゆうこうしょう）を授章しました。

金子さんは、平成24年に「緑白綬有功章」（りょくはくじゅゆうこうしょう）を授章していますが、このたびの「紫白綬有功章」は農事功績者表彰の中の最高位の章で、11月12日に東京の赤坂シティホテルで、大日本農会総裁の秋篠宮皇嗣殿下より直接、表彰状と記章を拝受いたしました。

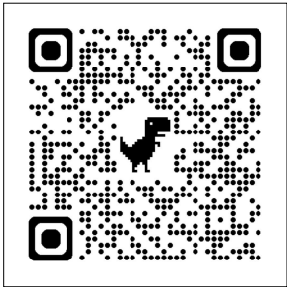
金子さんの功績は、水稻栽培を基盤としてフランス鴨の飼育や、メロンなどの野菜生産を行う複合経営に取り組んだほか、フランス鴨の加工にも取り組み、地域を代表する特産品開発に貢献したことが認められたもので、全国から毎年1〜2人が授章していますが、このたびは金子さんだけの授章です。

おめでとうございます。



12月5日湊由利本荘市長に授章を報告(写真・由利本荘市)

遠藤章博士顕彰会のホームページをご利用ください。QRコードから閲覧できます。



訃報

富山顧問が逝去されました

当顕彰会顧問の畠山忠男氏（元県立矢島高校校長）が、令和7年7月12日92歳で永眠されました。

畠山氏は遠藤章博士と県立本荘高校下郷分校の同級生で、生涯の友人関係を保ち合いました。

博士がノーベル賞候補になった際、誰よりもその受賞を心から待ち望んでおられました。晩年も、畠山氏と遠藤博士はお互いに電話を通じて健康を気遣い、励まし合っていました。

また、畠山氏から顕彰会の設立と運営において、多大なるご尽力を賜りました。そのご貢献は今後顕彰会の活動に息づいていきます。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



左から畠山忠男顧問、遠藤織枝さん(博士夫人)、遠藤章博士
2005年7月29日 鳥海山、矢島ルート「康ケルン」にて撮影

遠藤章博士の展示をリニューアル

これまで八塩生涯学習センター（旧八塩小学校の校舎）にあった「遠藤章博士顕彰室」は、施設の老朽化で残念ながら今年3月で閉館しました。そこで、博士の貴重な功績を伝える展示資料を、東由利公民館図書室の片隅と、東由利総合支所通路の2ヶ所に移して再スタートしました。

これらはそれぞれ「遠藤章博士顕彰コーナー」として、皆さんをお迎えしています。

かつて旧校長室に設けられていた展示が、形を変えて生まれ変わりましたので、ぜひ、お近くにお立ち寄りの際は、世界的な研究をされた遠藤章博士の功績に触れてみてください。

同図書室には、ラスカール賞（平成20年、ガードナー）



東由利公民館図書室に開設した顕彰展示コーナー

7年度総会は理事会と同日開催

令和7年度の遠藤章博士顕彰会の理事会と総会を、6月21日有鄰館で開催しました。

総会の出席者は理事を主体とした16人で、6年度の事業報告と決算報告、7年度の事業計画と予算について話し合いました。

事業報告については1ページの「会務報告」を参照ください。決算書は会員の皆さまに配布しましたのでご覧ください。



7年度総会の様子



東由利総合支所通路の顕彰展示コーナー

偉人資料館の設置を期待

遠藤章博士顕彰会では、音楽家小松耕輔、児童作家高橋宏幸など東由利地域の偉人を顕彰する独立した資料館の早期設置に期待を寄せています。

国際賞（平成29年）をはじめ、遠藤章博士の功績に関わる数々の資料と書籍、顕彰会の会報などを展示・配置しています。同総合支所には、遠藤博士の写真を中心に、功績を記した資料などを展示しています。この顕彰コーナーは、いずれも土日祭日（年末年始除く）も見学が出来ます。

顕彰碑守りつなく5年目の活動 東由利中生が支援



定期的に顕彰碑の清掃に汗する東由利中の皆さん

令和3年4月に完成した「遠藤章博士顕彰碑」は、今年で5年目の冬を迎えようとしています。

顕彰碑管理部会では、今年も7月と9月に草刈りを行い、11月には冬囲い作業を実施しました。さらに、来訪者がゆつくりくつろげるよう、6月中旬には杉材を製材したベンチも設置しました。

また、今年も東由利中学校の生徒さんたちが、遠藤章博士の学習活動の一環として、定期的に顕彰碑の清掃に取り組んでくれました。大変ありがたいことで、おかげさまで顕彰碑はいつも美しく保たれています。

この夏も記録的な猛暑となりましたが、顕彰碑を訪れる方々は年々増えていくようです。誠に喜ばしいことです。見学される皆さまに気持ちよく訪れていただくためにも、



新たに設置したベンチと、作業を終え一服する部会員



日頃の維持管理は欠かせません。管理部会の長谷山博昭部長は、「今年はどれくらいの方が来てくださったのだろうか」と話題にしながら、部会員とともに汗を流したそうです。

編集室から

令和7年度顕彰会の諸事業も皆さまのご協力により計画どおり進めることができました。会報第6号も無事にお届けでき、ほっとしているところです。▼金子拓雄さんの「紫白綬有功章」の授章は、東由利地

域にとつてうれしい話題です。授章記念祝賀会を長谷山博昭さんを委員長とする実行委員会がホテルアリスで1月下旬に開催する予定です。僭越ながら私もが案内状の発送などの事務を担当します。農業関係者の皆さまをはじめ、金子さんとゆかりのある方、また本会の関係者様にもご案内をさせていただくことになるはずですのでよろしく願います。

▼顕彰会の副会長として尽力された小松幸円さんが体調を崩され退会されました。これまでのご苦労に感謝し、快復を心よりお祈り申し上げます。（小野）